

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年11月25日（火）

2 確認箇所

- ・J 8タンクエリア、J 9タンクエリア（図1）
- ・H 1タンクエリア（図1）

3 確認項目

- (1) J 8タンクエリア、J 9タンクエリアの解体作業状況
- (2) J 8タンク内処理途上水のH 1-Gタンクエリアへの移送状況

4 確認結果の概要

(1) J 8タンクエリア、J 9タンクエリアの解体作業状況

処理途上水を保管しているJ 8タンクエリア及びALPS処理水を保管していたJ 9タンクエリアでは、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されている。J 9タンクエリアでは、エリア内に設置された溶接型タンク及び付帯設備の解体作業が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されており、J 8タンクエリアではタンク内の処理途上水移送が9月25日に完了、今年度中の解体に向けた準備が進められている。

県では、J 9タンク解体工事の実施状況について継続的に確認しており、本日もその確認を行うと共にJ 8タンクエリアからの処理途上水の移送状況を確認した。（前回確認：令和7年10月16日）

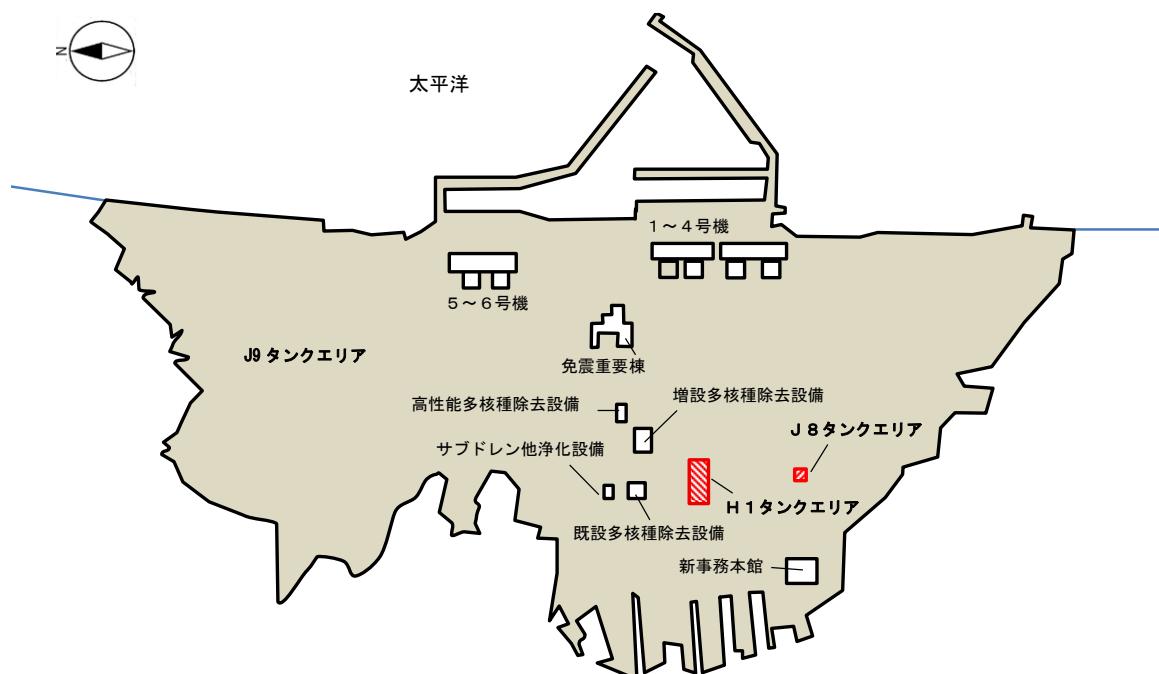
- ・J 9タンクエリアでは12基全ての溶接型タンクの解体及びコンクリート堰の解体が完了していた。（写真1）
- ・これまでJ 9タンクエリア内及び北側にはタンク解体片が整頓の上、大量に仮置きされていたが、解体片の一部を残し、ほぼ全ての解体廃棄物が搬出されていた。また、コンクリート堰（内堰・外堰とも）は、全て撤去され、解体物（コンクリートがら）も全て搬出されていた。なお、確認した範囲において、これら解体物の飛散等はなかった。（写真2）
- ・J 8タンクエリアでは、前回の確認時に北西側タンク底部の残水を移送するための車両（大型吸引車）が停車しており、タンク内の清掃等が行われていたが、今回の確認時には作業は行われていなかった。なお、確認した範囲において漏水は認められなかった。

(2) J 8タンク内処理途上水のH 1-Gタンクエリアへの移送状況

J 8タンクエリアに貯留している処理途上水※をH 1-Gタンクエリアへ移送し、J 8タンクの解体に向けた準備が進められていることから、当該移送ライン及び移送作業等の状況を確認した。

- ・ 現場確認時、J 8 タンクからH 1-G タンクへ向けての処理途上水の移送は完了しており、作業は行われていなかった。
- ・ J 8 タンクからの移送ラインにおける仮設移送ポンプ及び移送先のH 1-G タンクまでの移送ライン（A L P S 払出管：既設パイプを使用）とともに、確認した範囲では漏えいは認められなかつた。（写真3）
- ・ 漏えい検知警報盤は単管パイプに掛けられ、ビニールで養生された状態で設置されており、東京電力によると、移送作業時は、漏えい検知警報盤前に作業員を1名以上常駐させて迅速検知を可能にすることであった。（写真4）

※ 処理途上水：多核種除去設備にて処理した水のうち、放射性物質濃度が規制基準値未満になるまで放射性核種を除去できていない水。今後、多核種除去設備等にて再度処理される。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 壁の解体状況①



(写真1②) 壁の解体状況②



(写真1③) 溶接タンクの解体片



(写真1④) 不用品の整理状況



(写真2①) J 8 タンクの状況



(写真2②) J 9 タンクエリアの整理状況



(写真3①) H1-Gタンクへの移送ライン①



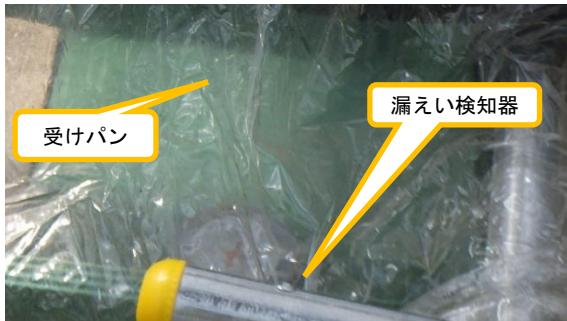
(写真3②) H1-Gタンクへの移送ライン②



(写真4①) H1—Gタンク堰内の
状況①



(写真4②) H1—Gタンク堰内の
状況②



(写真4③)
受けパン内に設置されている漏えい
検知器。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。